

# 第8回愛媛臨床パス研究会

## 愛媛県の臨床パスの現状

平成22年7月17日（土）12:00～17:00

会場：ひめぎんホール（真珠の間）

松山市道後町2-5-1

第8回当番世話人

済生会松山病院

宮岡 弘明

楠 勝介

## ご挨拶

第8回愛媛クリニカルパス研究会は済生会松山病院が担当させていただきます。今回もたくさんの演題を応募していただきありがとうございました。ポスター発表は9施設15演題です。それぞれの施設から種々の疾患のパスを出していただいています。一般演題4題は主にパス運用に関する演題です。昨年世話人会でパス利用が期待したほど進んでいないとの話題がでていましたので、シンポジウムのテーマは「各病院におけるクリニカルパスの現状と今後」にしました。各施設から現状・問題点・解決策・方向性等を発表していただきます。特別講演は済生会熊本病院院長の副島秀久先生にお願いしました。副島先生の特別講演は第1回目の本研究会以来2回目になります。熊本地区は将来の日本の医療体制を先取りしていると言われていますが、済生会熊本病院は熊本地区のリーダー病院です。副島先生は済生会熊本病院での医療の質向上活動に先頭にたって取り組んでこられましたので、ご講演には、今後私たちが取り組むべきこと、改善すべきことが凝集されていると思います。

今後日本の医療体制は急性期病院に限らずDPC化していくようです。そこには平均在院日数の短縮化に象徴されるように、一定の質を保ちながらの効率的な医療が求められてきます。それをクリアするためにはパスの活用が必須だと思います。また最近では医師不足に加え看護師不足も顕在化してきました。限られた医療資源・人材の有効活用にもパスは必要です。本研究会を通じて各施設におけるパスの運用が更に活性化し、医療の質の向上につながっていくことを期待しております。活発な討論をよろしくお願い致します。

済生会松山病院副院長  
宮岡弘明

# 第 8 回愛媛クリニカルパス研究会

日 時 : 平成 22 年 7 月 17 日(土) 12:00~17:00

場 所 : ひめぎんホール(真珠の間) 松山市道後町 2-5-1 TEL:089-923-5111

テ マ : 「愛媛県のクリニカルパスの現状」

会 費 : 1000 円

12:00~ ポスター展示 ※12時~16時・2F真珠の間ロビーにて

13:00~13:05 開会の挨拶 済生会松山病院 副院長 宮岡 弘明

13:05~13:50 【一般演題(パス発表)】

座長:済生会松山病院 看護部長 松本 久美子

①「パス作成に対する診療録管理室からデータ支援 -診療録およびDPC解析ソフトから-」

済生会西条病院 診療録管理室 明比 佳子

②「乳がん地域連携パスの運用における現状と今後の課題

~連携コーディネーターとしての看護師の立場から~」

松山赤十字病院 乳がん看護認定看護師 篠崎 恭子

③「重症化予防フットケアパス作成の試み ~糖尿病患者の足を守るために~」

済生会松山病院 看護師 宮脇 陽子

④「大腿骨近位部骨折のクリニカルパス-社会的要因のバリエーションに対する解決策-」

済生会西条病院 看護師 曾我部 小百合

— 休憩 —

14:05~15:25 【シンポジウム】

テーマ:各病院におけるクリニカルパスの現状と今後

座長:済生会松山病院 脳神経外科部長 楠 勝介

済生会松山病院 看護係長 三本松 つる子

①「当院におけるクリニカルパス管理の現状と今後」

四国がんセンター 副看護師長 岸田 恵

②「済生会松山病院におけるクリニカルパスの現状と方向性」

済生会松山病院 看護師 河野 陽子

③「愛媛県立中央病院におけるクリニカルパスの現状と今後」

愛媛県立中央病院 泌尿器科 堀見 孔星

④「当院におけるクリニカルパスの現状と今後」

済生会西条病院 副院長 石井 博

⑤「当院におけるパス運用の現状」

市立宇和島病院 院長 梶原 伸介

15:25~15:30 事務局報告

次年度世話人施設(愛媛大学附属病院)挨拶

— 休憩 —

15:50~16:50 【特別講演】

座長:済生会松山病院 副院長 宮岡 弘明

『DPCとクリニカルパス』

済生会熊本病院 院長 副島 秀久先生

16:50 閉会の挨拶 済生会松山病院 副院長 宮岡 弘明

共催:愛媛クリニカルパス研究会 (株)大塚製薬工場

## 特別講演

「DPC とクリニカルパス—医療の改善にどのように活かすか—」

済生会熊本病院 院長 副島秀久

2003年より導入されたDPCも制度的に定着しつつあり、本年の診療報酬改定では新たな機能係数が加わって、医療内容をより正確に数値化し、報酬に反映させる方向が示された。特に複雑性指標、効率性指標、カバー率などは疾患構成のみならず、パフォーマンスも含めた評価指標であり、緊急性のある複雑な疾患を効率よく治すということに重点的な評価が行われた。こうした指標は公開されベンチマークの対象になり、急性期の病院が同じ方向に向かって動き出す事になろう。一方クリニカルパス（以下パス）は殆どの医療機関に普及し、標準化や効率化、医療の質改善にその効果を上げている。ただ、バリエーション分析の結果を現場にフィードバックし実際の医療を大きく変えていくには、パスのみでは困難だろう。今回の講演ではDPCで得られる情報とパスから得られる情報を統合し、現場の医療の質改善や病院運営につなげるには何が必要かという観点から話をしたい。

~NOTE~

## 一般演題（パス発表）

座長：済生会松山病院 看護部長 松本 久美子

### ①「パス作成に対する診療録管理室からデータ支援

～診療録およびDPC解析ソフトから～

済生会西条病院 診療録管理室 明比 佳子

### ②「乳がん地域連携パスの運用における現状と今後の課題

～連携コーディネーターとしての看護師の立場から～

松山赤十字病院 乳がん看護認定看護師 篠崎 恭子

### ③「重症化予防フットケアパス作成の試み

～糖尿病患者の足を守るために～

済生会松山病院 看護師 宮脇 陽子

### ④「大腿骨近位部骨折のクリニカルパス

～社会的要因のバリエーションに対する解決策～

済生会西条病院 看護師 曾我部 小百合

パス作成に対する診療情報管理室からデータ支援—診療録および DPC 解析ソフトから

○ 明比 佳子 1)、高橋 由紀 1)、豊田 浩行 2)、石井 博 3)

済生会西条病院

1) 診療情報管理室、2) 医事課、3) 外科

当院では平成 15 年 12 月からクリニカルパスを導入し約 70 種類のパスが運用されている。パスの運用や質改善のための支援として診療情報管理室の関わりは少ないことが現状であった。今回平成 22 年 7 月 DPC 導入にあたり、診療録のデータおよび DPC 解析ソフトから、パス作成や改善に種々のデータを提出することにより貢献可能である部分を検討したので、運用中の種々のパスを提示し報告する。

乳がん地域連携パスの運用における現状と今後の課題  
～連携コーディネーターとしての看護師の立場から～

松山赤十字病院 篠崎恭子 大空真樹 末光澄子

当院では、昨年 10 月から乳がん地域連携パスの運用を開始し、現在 20 名が利用している。しかし、患者にとっては意思決定までの期間が短く不安が大きい。看護師の役割は、限られた資源（時間・場所・人材）の中で、患者の気持ちに共感しつつ、地域医療の質と継続性を保証する連携パスへの理解を促すこと、いかなる場合でも患者を支えることにある。今後の課題は、運用体制の整備、医療者間の調整、地域連携後の患者サポートである。



重症化予防フットケアパス作成の試み ～糖尿病患者の足を守るために～

○宮脇陽子 徳野みどり 兵頭千恵 松本真理子 福田かずえ  
済生会松山病院 看護部 糖尿病療養指導士

当院は、2009年4月よりフットケア外来を開設した。今までは看護師の視点を中心であったが、フットケアチームのあらゆる視点で足の現状を把握し、専門性を活かした評価、効率的に情報を共有する目的で、今回、フットケアのパス作成に取り組んだ。現在は、試験的に一部の患者にのみ使用している状況であるが、今後、電子カルテに向けて改良を重ね、糖尿病足病変の重症化予防につながるよう、チーム医療を図っていきたい。

## 大腿骨近位部骨折のクリニカルパス

### -社会的要因のバリエーションに対する-解決策-

済生会西条病院 看護部

曾我部小百合、秋山直美、阿蘇京子、木村好子、  
藤井真由美

リハビリテーション部 末廣忠延、明比統裕、山内正雄

MSW

松田麻美、首藤賢志

整形外科

藤井裕子、白形陽生、井関康武、亀井節也

当院整形外科では、早期に ADL を獲得することを目標に計 20 のクリニカルパス（以下パス）を活用しているが、退院予定時期に目標の ADL を獲得しているにもかかわらず社会的要因により在院日数が延長する例が多くみられた。その対策として 2008 年 4 月から、パス適用患者を中心にカレンダー様式の日程表を併用しているが、結果として在院日数の減少のみならず歩行能力などの ADL に関しても予想以上の改善がみられている。今回その詳細について発表する。

~NOTE~

## シンポジウム

テーマ:各病院におけるクリニカルパスの現状と今後

座長：済生会松山病院 脳神経外科部長 楠 勝介

済生会松山病院 看護係長 三本松 つる子

①「当院におけるクリニカルパス管理の現状と今後」

四国がんセンター 副看護師長 岸田 恵

②「済生会松山病院におけるクリニカルパスの現状と方向性」

済生会松山病院 看護師 河野 陽子

③「愛媛県立中央病院におけるクリニカルパスの現状と今後」

愛媛県立中央病院 泌尿器科 堀見 孔星

④「当院におけるクリニカルパスの現状と今後」

済生会西条病院 副院長 石井 博

⑤「当院におけるパス運用の現状」

市立宇和島病院 院長 梶原 伸介

## 四国がんセンターにおけるクリニカルパス管理の現状と今後の課題

四国がんセンター パス推進委員会 岸田恵

四国がんセンターでは、がん領域において有用性が示されている検査や手術療法、化学療法のクリニカルパス（以下パス）を積極的に導入し、2010年5月現在103件の登録パスを運用している。オーバービューパス5件、オールインワンパス93件（うち82件がアウトカム志向型パス）、その他のパス5件があり、平成21年度のパス使用率は平均56.8%と高率であった。現状に至るまでには、2007年からの看護師の活動があり、パスの作成・審査・管理を行い病院全体のパスを把握してきた。その結果、パスの形式・運用の統一がなされている。

看護師として行っている、パスの作成支援→審査→承認→運用→改訂など、パス管理の現状と、2011年3月導入予定の電子カルテに向けての今後の課題について報告する。

## 済生会松山病院におけるクリニカルパスの現状と方向性

済生会松山病院 看護師 河野陽子

当院では2004年7月から、医療の標準化・在院日数の短縮・医療の質の向上・患者満足を目指しクリニカルパス（以下パスとする）を導入した。現在までで25種類のパスが承認され運用されている。しかし、現状はバリエーション分析・チェックができていない、作ったけれど運用されていない、などの問題が山積して当初の目的まで達成できていない。今年8月、当院でも電子カルテが導入されることになった。そこで当院でのパスの現状とそれに伴う問題点を見直ししてみたのでここに報告する。

## 「愛媛県立中央病院におけるクリニカルパスの現状と今後」

愛媛県立中央病院 泌尿器科 堀見孔星

クリニカルパスの導入により医療ケアの標準化・業務改善・チーム医療・インフォームドコンセント・リスクマネジメント・コストマネジメントなどが推進されると言われている。わが国の医療機関にクリニカルパスが浸透し始めたのは 2000 年頃からで、2007 年 3 月に行われた宮崎等による調査では一般病院への導入率は 92%となっており、クリニカルパスが国内で広く浸透していることが窺える。一方で電子カルテの導入も進み今後数年でさらに広まることが考えられる。当院は愛媛県松山市に位置する 864 床の急性期病院であるが、当院においても 2005 年より電子カルテ(NEC/MegaOak-HR)が導入となり、以後電子パスシステムにてパス運用を行って来ている。現在当院では 21 診療科にて手術・検査関連・化学療法のパス等 108 種類を作成・運用している。今回、泌尿器科で運用されているクリニカルパスを中心に EBM に基づいた見直しやバリエーション分析に基づいた見直しなどを行い検討する事により、愛媛県立中央病院におけるクリニカルパスの現状と今後について報告する。

## 当院におけるクリニカルパスの現状と今後

済生会西条病院 石井 博、藤井裕子、大森拓朗、木村好子、横畑加代子、パス委員一同

当院のクリニカルパスは平成 15 年 12 月から導入し、現在 78 種類のパスが存在しているが、バリエーション解析は年 2 回パス大会の際にしか行っていない。病院全体のパス利用率は平成 16 年度 43%、平成 20 年度 46%と変化がなく、診療科により大きなバラツキがあり、平成 21 年度において眼科 91%、整形外科 84%、外科 42%、泌尿器科 36%、内科 11%、脳外科 9%であった。疾患群のバラツキは差を含めても、パスの必要性が理解されている診療科では使用率が高い傾向にあった。

平成 21 年 3 月に電子カルテ・オーダーリングシステムが導入され、パスが十分に整備されていた診療科では利用率は高く、看護支援システムとの共同により順調に経過している。当院のシステム（日本事務機の HS-MIRAI）では十分なパス機能がないため紙パスを利用しており、実際にパスは管理手順書となっている。しかし化学療法において安全のために管理手順書は特に重要であり、外来部門においても化学療法パスが多く作成されるであろう。



## 当院におけるクリニカルパス運用の現状

市立宇和島病院

梶原伸介、清地秀典、山田 恵子、土居 洋子

当院では 2003 年よりクリニカルパス（以後パス）の登録、運用を開始し、徐々に院内に浸透し、外科系を中心に 91 のパスが登録されるようになった。科別としては外科が 21、心臓血管外科 6、婦人科 14、耳鼻咽喉科 11、麻酔科 8、整形外科 4、泌尿器科 4、眼科 3、歯科口腔外科 4、内科 8 件となっている。外科系は手術という目標の設定がはっきりしているためパスが普及していったものと思われる。当院は救急部門も比重が大きくパスになじまない面も多いが、予定入院を中心としてパスの使用数も徐々に増加し、2006 年はパスの使用率は 16.17%であったが 2009 年には 27.14%と増加していった。バリエーションの発生は半数以上認めるがパス逸脱となった例は少なく、10-12%前後であった。使用する医師としての立場で考えると紙カルテの時代にはメリットはあまり感じなかったが、電子カルテ時代になるとメリットは大きく、一度設定すると入院時に 2、3 回のクリックでほとんどすべての指示が瞬時にでき、入院時に必要な書類類の記載漏れもなくなり精神的な負担がかなり減少したと思われる。今後当院も DPC が導入されるため、DPC に適応したパスに修正していく必要があると思われる。

## ポスターセッション(パス展示)演題番号表

No	病院名	展示パス名	演者氏名
1	松山赤十字病院	再発・進行大腸がん化学療法(mFOLFOX6)パス	山口 育子
2	松山赤十字病院	パクリタキセル+カルボプラチンTC療法 Weekly	徳岡 梨沙
3	四国がんセンター	甲状腺パス	石橋 彩子・安永 梓
4	四国がんセンター	食道がんパス	熊 美有紀・實好 りか 高橋 裕子
5	国立病院機構愛媛病院	睡眠時無呼吸症候群 PSG検査	梅木 夕里香・木山 明子・ 玉田 五十鈴・松尾 弘美
6	国立病院機構愛媛病院	心臓リハビリテーション教育目的入院 クリニカルパス	藤岡 紀子
7	市立宇和島病院	DPC導入に対応した白内障手術クリニカルパスの改訂	柏山 江里子・西田 美咲子
8	済生会今治病院	サイバーナイフパス	越智 三紀子
9	済生会今治病院	糖尿病教育入院(1週間用)	丸山 紘花・三谷 ちひろ
10	済生会西条病院	アバスチン+mFOLFOX6	曾我部 都
11	済生会西条病院	高位脛骨骨切術 クリニカルパス	秋山 直美
12	西条中央病院	口蓋扁桃摘出術クリニカルパス(成人用)	松本 宗一・奏 薫・ 田坂 真也・長井 逸美
13	住友別子病院	電子カルテにおけるbroncoファイバーパス	藤井 克匡
14	済生会松山病院	兎径ヘルニアパス	伊関 郁恵・岩城 文・ 小田 一乃・三本松 つる子
15	済生会松山病院	白内障手術パス	徳田 登母子・佐藤 和子・ 毛利 馨

愛媛クリニカルパス研究会 世話人施設 (順不同)

No.	世話人施設名	〒	住所	TEL	FAX
1	松山赤十字病院	790-8524	松山市文京町1番地	089-924-1111	089-922-6892
2	愛媛県立中央病院	790-0024	松山市春日町83	089-947-1111	089-943-4136
3	道後温泉病院	790-0858	松山市道後姫塚乙21-21	089-933-5131	089-933-5137
4	済生会今治病院	799-1502	今治市喜田村7丁目1-6	0898-47-2500	0898-48-5096
5	宇和島社会保険病院	798-0053	宇和島市賀古町2丁目1-37	0895-22-5616	0895-24-5838
6	住友別子病院	792-8543	新居浜市王子町3-1	0897-37-7111	0897-37-7121
7	済生会西条病院	793-0027	西条市朔日市字榎ヶ坪269-1	0897-55-5100	0897-55-6766
8	三島医療センター	799-0422	四国中央市中之庄町1684-2	0896-23-3345	0896-24-7741
9	愛媛県立南宇和病院	798-4131	南宇和郡愛南町城辺甲2433-1	0895-72-1231	0895-72-5552
10	愛媛大学医学部附属病院	791-0295	東温市志津川	089-964-5111	089-960-5131
11	愛媛病院	791-0281	東温市横河原366	089-964-2411	089-964-0251
12	市立八幡浜総合病院	796-8502	八幡浜市大字大平1番耕地638	0894-22-3211	0894-24-2563
13	市立宇和島病院	798-8510	宇和島市御殿町1-1	0895-25-1111	0895-25-5334
14	十全総合病院	792-8586	新居浜市北新町1-5	0897-33-1818	0897-37-2124
15	西条中央病院	793-0027	西条市朔日市804	0897-56-0300	0897-56-0301
16	愛媛県立新居浜病院	792-0042	新居浜市本郷3丁目1-1	0897-43-6161	0897-41-2900
17	石川病院	799-0121	四国中央市上分町732-1	0896-58-2222	0896-58-2223
18	愛媛労災病院	792-8550	新居浜市南小松原町13-27	0897-33-6191	0897-33-6169
19	愛媛県立今治病院	794-0006	今治市石井町4丁目5の5	0898-32-7111	0898-22-1398
20	済生会松山病院	791-8026	松山市山西町880-2	089-951-6111	089-953-3806
21	松山市民病院	790-0067	松山市大手町2丁目6-5	089-943-1151	089-947-0026
22	四国がんセンター	791-0280	松山市南梅本町甲160	089-999-1111	089-999-1100

# 愛媛クリニカルパス研究会会則

## 第1条（名称）

本会は愛媛クリニカルパス研究会と称する。

## 第2条（目的）

本会はクリニカルパスを使用した医療、つまり EBM を取り入れた医療の標準化、チーム医療、患者様中心の医療の実施を普及、啓発を目的とするものである。

## 第3条（構成）

1. 会員：原則として愛媛県内の医療従事者で本会の目的に賛同するものとする。
2. 世話人：会員の中から若干名の世話人を選出し、その中から代表世話人を選出する。
3. 会計監事：世話人の中から選出する。

## 第4条（事業および運営）

1. 研究会などの開催：本会の目的を達成するために原則として年2回の研究会および本会が必要と認める事業を開催する。
2. 世話人会：世話人会を南予、中予、東予の3ブロック構成で組織し、本会の運営にあたる。
3. 当番世話人：本会開催のための当番世話人は3ブロックの持ち回りとする
4. 会の開催にあたっては各ブロック内で決定した施設が行う。
5. 会計監事：本会の財務を監査するものとする。
6. 主旨に賛同する、団体、企業との共催は、世話人会の承認を得て、開催する事ができる。

## 第5条（事務局）

本研究会の事務局は独立行政法人国立病院機構四国がんセンターに置く。

事務局は世話人会の決定で変更できる。

会計は事務局が代行する。

## 第6条（参加費）

会への参加者は参加費として1,000円を納める。

参加費は会場費、通信費などに使用するものとする。

## 第7条（会則改正）

本会則の変更、会計監事の変更、事務局の変更、世話人の変更・追加は世話人会の決定で行うことができる。

## 付則

本会則は2004年3月20日より施行する

改訂：2009年7月